



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年8月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年8月21日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 文部科学大臣杯第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会で優勝した選手が市長を表敬訪問します(資料1)
- 2 「～要配慮者と考える～温泉防災EXPOin伊香保」を9月27日(水)に開催します(資料2)
- 3 ふるさと納税ワンストップ特例制度のオンライン申請サービスを開始しました(資料3)
- 4 デジタル化の恩恵を全市民が受けられるための取り組みを実施しています(資料4)
- 5 世界アルツハイマー月間における認知症に関する普及啓発事業「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します(資料5)
- 6 渋川市公式ホームページのリニューアルに向けたアンケートを実施します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和5年8月28日(月) 午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
8月21日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 シルバー人材センターから要望書の提出	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 高齢者安心課
8月22日(火)	9:00	第26回政策戦略会議	市役所本庁舎	政策戦略課
8月23日(水)	18:30	渋川地域保健医療対策協議会及び地域医療構想部会・外来医療調整部会合同部会	渋川保健福祉事務所	健康増進課
8月24日(木)	13:15	令和5年度第1回渋川市健康づくり推進協議会	渋川市保健センター	健康増進課
8月25日(金)				
8月26日(土)	17:30	石原西自治会まつり	石原西住民センター	市民協働推進課
8月27日(日)				
8月28日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 終了後	渋川市と(公社)被害者支援センターすてっぷぐんまとの支援業務の連携に関する協定締結式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	危機管理室 政策戦略課
	19:00	新型コロナウイルス対応並びに新たな感染症発生時に向けての意見交換会	プレヴェール渋川	健康増進課

資料1

文部科学大臣杯第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会 で優勝した選手が市長を表敬訪問します

令和5年8月5日・6日に福岡市総合体育館で開催された、文部科学大臣杯第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会で、優秀な成績を収めた選手2人が、8月21日(月)に渋川市長を表敬訪問します。

1 概要

令和5年8月5日・6日に福岡市総合体育館で開催された、文部科学大臣杯第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会において、個人戦小学5年生男子組手の部で優勝した小林徠亜さん、個人戦中学1年生男子形の部で優勝した庄司大駕さんの2人が、所属する渋川空友館の指導者とともに市長を表敬訪問します。

2 訪問日時 令和5年8月21日(月) 午後1時

3 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

4 来訪者(予定)

(1) 小林 徠亜(こばやし らいあ)

個人戦 小学5年生男子 組手の部 優勝(2連覇)

(2) 庄司 大駕(しょうじ たいが)

個人戦 中学1年生男子 形の部 優勝

(3) 渋川空友館 水沢淳館長ほか指導者2名

5 大会概要

(1) 名 称 文部科学大臣杯第65回小学生・中学生全国空手道選手権大会

(2) 主 催 公益社団法人 日本空手協会(内閣府認定団体)

(3) 開催日 令和5年8月5日、6日

(4) 場 所 福岡市総合体育館

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝(内線1150)

担当: スポーツ課 (電話0279-22-2241)

課長 狩野 真洋(内線4957)

スポーツ振興係長 荒木 忠(内線4970)

「～要配慮者と考える～温泉防災E X P O in伊香保」を 9月27日(水)に開催します

過去に災害に遭った『被災地』とこれから災害に遭う危険性がある『未災地』の協働をテーマとして、各種団体による情報共有や情報交換などを図る場として「～要配慮者と考える～温泉防災E X P O in 伊香保」を開催します。

アレルギーやペット同伴、外国人観光客などの要配慮者が避難所・旅館に来たことを想定した避難所開設の訓練を実施します。また、「障がい×旅行×防災」をテーマにしたトークセッション、コンサート、防災パネルの展示などを行います。

1 趣 旨

過去に災害に遭った『被災地』とこれから災害に遭う危険性がある『未災地』の協働をテーマとして、社会全体で防災対策に取り組み、安心して暮らせる社会の構築を積極的に進めている地域団体や業界団体、学術団体などの専門団体や企業などの一般法人、自治体などの官公庁とともに、これまでの被災地で起きた教訓について情報共有や情報交換などを図る場として、そして今後の未災地において進めるべき対策について情報共有や情報交換などを図る場として「～要配慮者と考える～温泉防災E X P O in 伊香保」を開催します。

避難所における衛生に関するセミナーや宿泊施設における環境アレルギーへの対応セミナーのほか、「障がい×旅行×防災」をテーマにしたトークセッション、コンサート、防災パネルの展示などを行います。

2 日 時 令和5年9月27日(水) 午前10時～午後4時30分

3 場 所 伊香保体育館（渋川市伊香保町伊香保552-2）

4 スケジュール・内容

- (1) 温泉防災E X P Oオープニングセッション（午前10時～10時20分）
- (2) セミナー「避難所の現実～今できる備えを考える～」（午前10時30分～11時50分）
 - ・講 師 ケアプロ訪問介護ステーション東京 災害プロジェクトメンバー
佐藤 純 氏
- (3) トークセッション「～障がい×旅行×防災～誰もが包摂されるまちづくりに向けて」（正午～午後0時50分）
 - ・司 会 時東 あみ 氏（タレント・防災士）
 - ・登壇者 人の森ケチャップ 寺床 圭介 氏
（一社）インクルーシブコミュニティ協会 代表理事 新井 清義 氏
 - ・概 要 何かしらがネックで旅行に行けない、行き控えてしまう「観光弱者」について、登壇者の活動内容と共に考えていきます

- (4) 借り上げ福祉避難所体験講習（正午～午後0時50分）※会場＝会議室
- ・登壇者 温泉防災EXPO運営実行委員長 塩田 忠則 氏（避難所エキスパート・防災士）
 - ・概要 旅館の宿泊客が滞在中に地震等の災害にあった際、具体的にどのようなことが起こり、どのように動くべきなのか、共に考えます
- (5) コンサート「飯塚朋子コンサートライブ」（午後2時～2時50分）
- ・概要 渋川市出身のシンガー飯塚朋子さんが、神戸復興を願うシンボル曲の「しあわせ運べるように」他を披露
- (6) セミナー「宿泊施設における環境アレルゲンへの対応」（午後3時～3時50分）
- ・登壇者 ㈱ CLAY Lab 代表取締役
南京医科大学国際アレルギーセンター特別研究員 嶋田 貴志 氏
 - ・概要 宿泊施設内、特に部屋や寝具にヒョウヒダニやネコアレルゲンが検出されないと証明することで、アレルギー患者が安心して宿泊できます。アレルギーの原因や検出方法などを説明します
- (7) 温泉防災EXPOクロージングセッション（午後4時～4時20分）
- (8) その他イベント
- ①地震体験車
 - ②防災パネルの展示
 - ③エンジン付き人力車
 - ④キッチンカーでの食品販売

5 入 場 料 無料

6 駐 車 場

会場の駐車場に限りがあることから、伊香保バスターミナル・石段下と会場を結ぶ無料循環バスを運行します。

7 主 催

温泉防災EXPOコンソーシアム

- ・(一社)渋川伊香保温泉観光協会
- ・伊香保温泉旅館協同組合
- ・(一社)日本環境保健機構

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

危機管理係長 兵藤 正和（内線2185）

ふるさと納税ワンストップ特例制度の オンライン申請サービスを開始しました

渋川市は、令和5年8月10日から、ふるさと納税ワンストップ特例制度のオンライン申請サービスを開始しました。

スマートフォンとマイナンバーカードがあれば、ワンストップ特例申請が完結するため、申請書類の作成やポスト投かんが不要となります。

1 ワンストップ特例制度のオンライン申請サービスについて

ワンストップ特例制度は、確定申告を行わなくても、ふるさと納税の寄附金控除が受けられる仕組みです。ふるさと納税先の自治体が1年間で5団体以内であれば、この制度を利用できます。

渋川市では、例年9月～12月に寄附件数が多くなっています。そのため、寄附者の利便性向上を目的に、令和5年8月10日からワンストップ特例制度のオンライン申請サービスを導入し、スマートフォンアプリ「IAM（アイアム）」をご利用いただくことで、スマートフォンとマイナンバーカードがあれば、ワンストップ特例制度のオンライン申請をできるようにしました。

これにより、申請書類の作成やポスト投かんといった手続が不要となります。

マイナンバーカード  をお持ちの方へ朗報

ワンストップ特例申請が完全ペーパーレスに！
申請アプリ **IAM** 新登場



ふるさと納税を頂いた皆様の負担を軽減するために、ワンストップ特例申請をスマートフォンのみで完結できるアプリ「IAM」が誕生しました！

ワンストップ特例申請は
スマホで完結
手間のかかる手続きを大幅スキップ！

スマホだから **ラク〜!**

書類作成不要
コピー不要
切り貼り不要
返送不要

マイナンバーカードをお持ちであれば、申請アプリ「IAM」を使用いただくことで、わずらわしい書類の作成や申請書のポスト投函が不要となります。

2 スマートフォンアプリ 「IAM（アイアム）」 について

「IAM（アイアム）」は、マイナンバーカードを使った公的個人認証（JPKI）で本人確認と電子署名ができるアプリです。

申請アプリ
IAM を
手に入れよう♪



ダウンロードはこちらから



iPhone



Android

3 オンラインワンストップ特例申請に必要なもの

- (1) マイナンバーカードを読み取り可能なスマートフォン
- (2) マイナンバーカード（通知カードでは利用できません）
- (3) マイナンバーカードの券面事項入力補助用暗証番号（数字4桁）
- (4) マイナンバーカードの署名用電子証明書暗証番号（英数字6桁～16桁）
- (5) 渋川市から届く申請用二次元コード付きのワンストップ特例申請書

4 申請アプリ「I AM」でのワンストップ特例申請の手順

- (1) 申請アプリ「I AM」をダウンロードします
- (2) ワンストップ特例申請書の2次元コードをスマートフォンで読み取り、サイトへアクセスします
※住所などの変更がある場合は、正しい情報に変更をお願いします
- (3) マイナンバーカード作成時に自身で設定した暗証番号2種類（※）を入力し、マイナンバーカードをかざして完了ボタンを押します
※券面事項入力補助用暗証番号（数字4桁）と、署名用電子証明書暗証番号（英数字6～16桁）です
※従来の手続き方法の「書類郵送による申請」も引き続き利用できます

5 ワンストップ特例申請ができる人の条件

- (1) もともと確定申告をする必要のない給与所得者等であること（年収2,000万円を超える所得者や、医療費控除等で確定申告が必要な場合は、確定申告で寄付金控除を申請してください。）
- (2) 1年間の寄付先が5自治体以内であること

6 その他

群馬県内でワンストップ特例制度のオンライン申請サービスを導入（一部寄附のみオンライン申請サービス導入を含む）しているのは、前橋市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、富岡市、安中市、榛東村、下仁田町、嬬恋村、片品村、川場村、みなかみ町、玉村町、明和町、千代田町、邑楽町の18市町村です。

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）
担当：DX・行政管理課（電話0279-25-8414）
課長 小林 悟（内線2450）
管理係長 萩原 健（内線2440）

デジタル化の恩恵を全市民が受けられるための取り組みを実施しています

渋川市は、デジタル化を推進するに当たり、その恩恵を全市民が受けることができ、情報格差（デジタルデバイド）が生じないようにするため、令和3年度からスマートフォン体験教室等に取り組んできました。

デジタル社会の進展に伴い、市民の利便性向上を図るため、今年度も内容を更に充実させて実施しています。

1 概 要

渋川市は、全市民がデジタル化の恩恵を享受し、市民の誰もデジタル化に取り残されることがないようにするため、令和3年度からデジタルデバイド対策に取り組んできました。

令和5年度は、これまでのスマートフォン体験教室の内容を発展させるとともに、個別相談に柔軟に対応するためスマートフォンよろず相談会を拡充するなど、総合的な支援に取り組んでいます。

2 令和5年度の取り組み

(1) スマートフォン体験教室（令和5年8月～令和6年2月：計8回実施）

ア 基礎的な内容の講義：5回

スマートフォンを使って生活に便利なアプリなどを体験するとともに、基本的な操作方法を講義形式で学びます。

※体験内容の例：カメラ（二次元コード）、インターネット、LINE、Google Maps など

イ 発展的な内容の講座：3回

赤城自然園内を散策しながら、写真の撮り方、植物等の名称の検索方法などを学びます。

また、しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」の使い方やマイナンバーカードの活用をテーマにした講義を行います。

(2) スマートフォンよろず相談会（令和5年7月～令和6年2月：計16回実施）

専門の講師が、スマートフォンに関する相談に個別に対応します。

なお、令和4年度は月1回開催でしたが、令和5年度は月2回に拡充します。

(3) スマートフォンサポート窓口（令和5年4月～令和5年6月：月2回実施）

市職員が、スマートフォンに関する初歩的な相談に個別に対応しました。

※実績：6回実施・参加者35人

【令和5年度スマートフォン体験教室実施スケジュール】

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	回数
体験教室	基礎編		8/21(月) 中央公民館 講義室	9/25(月) 子持公民館 ホール		11/22(水) 波川公民館 講義室		1/18(木) 北橋公民館 301講義室	2/8(木) 中央公民館 講義室	5
	カメラアプリ 活用方法				日程未確定 同日2回開催 赤城自然園					2
	地域通貨・ マイナンバー カードの利活用						12/6(水) 中央公民館 講義室			1
よろず相談会		7/5(水) 7/28(金) 第3会議室	8/10(木) 8/25(金) 市民ホール	9/22(金) 9/29(金) 市民ホール	10/13(金) 10/26(木) 市民ホール	11/2(木) 11/13(月) 市民ホール	12/15(金) 12/22(金) 市民ホール	1/12(金) 1/26(金) 市民ホール	2/2(金) 2/16(金) 市民ホール	16

参考

1 令和3年度の開催状況

	内容	開催時期	会場	実施回数	参加人数
1	スマートフォン体験教室	10月～2月	公民館	33回	243人
2	スマートフォンサポート窓口	10月～3月	市役所本庁舎、公民館	32回	59人

2 令和4年度の開催状況

	内容	開催時期	会場	実施回数	参加人数
1	スマートフォン体験教室	8月～2月	公民館	8回	97人
2	スマートフォン体験教室(派遣型)	10/4、10/9	自治会館	2回	14人
3	スマートフォンよろず相談会	7月～2月	市役所本庁舎市民ホール	10回	42人
4	スマートフォンサポート窓口	4月～3月	市役所本庁舎、公民館等	55回	228人

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人 (内線2105)

担当：DX・行政管理課 (電話0279-25-8414)

課長 小林 悟 (内線2450)

DX・改革推進係長 後藤 晃秀 (内線2443)

世界アルツハイマー月間における認知症に関する普及啓発事業 「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します

渋川市は、9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせて、認知症の理解を深め、認知症施策についての理解を促す取り組みとして、9月4日(月)～8日(金)に「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」を開催します。

1 目 的

認知症は、誰もがなりうる脳の病気で、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。認知症について正しく理解し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域で認知症と共に生きるまちづくりを推進することが重要となっています。

渋川市は、令和3年10月に「渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例」を制定し、認知症になっても誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会を推進しています。その一環として、9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせて、認知症の理解を深めるための事業を実施します。

2 開催期間 令和5年9月4日(月)～8日(金) 午前9時～午後4時

3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 内 容

(1) パネル展示

認知症に関すること、認知症の方への接し方、市の認知症施策紹介、「渋川市認知症とともに生きる地域ふれあい条例」などをパネルで紹介します

(2) 認知症に関する本の紹介

本人、家族、児童の分野からのおすすめ図書の紹介

(3) もの忘れ相談

(4) 動画上映(厚生労働省 認知症本人大使「希望大使」動画など)

(5) パンフレット配布

5 過去のアルツハイマー月間における認知症に関する普及啓発事業実績

	令和3年度	令和4年度
来所者数	144人	141人
相談者数	13人	12人

参考

渋川市が取り組む認知症施策の一部

1 認知症高齢者等搜索支援登録事業

認知症等により、行方不明になる可能性のある高齢者等の身体的特徴や緊急連絡先、顔写真などを事前に登録し、家族等の同意のもと、警察署に情報提供するものです。

これらの情報を事前に登録しておくことで、速やかに搜索が開始され、早期発見につながり、保護された時の身元の確認が迅速にできます。

なお、本事業に登録した場合に限り、希望があればGPS端末の貸し出しを行います。GPS端末から、24時間365日体制で家族に位置情報を提供します。

※認知症高齢者等搜索支援登録事業登録者実績（各年度3月31日現在）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	36人	51人	56人	61人
GPS登録者数	10人	6人	6人	13人

2 渋川市成年後見サポートセンター

渋川市は、令和元年10月1日の「渋川市成年後見制度の利用を促進するための条例」の施行に先だって、令和元年9月1日に「渋川市成年後見サポートセンター」を開設しました。

成年後見サポートセンターでは、本人や親族・関係機関（病院・福祉施設・障害者施設等）から成年後見制度に関する相談を受け付けるほか、成年後見制度の利用が必要な市民に対して、手続きの説明や申立のお手伝いをします。

※成年後見サポートセンター概要

所在地：渋川市石原80番地（渋川市役所高齢者安心課内）

サポートセンター専用ダイヤル：0279-25-7196

開所時間：午前8時30分～午後5時15分

休業日：土・日・祝日及び年末年始

※成年後見サポートセンター相談対応実績（各年度3月31日現在）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	74人	55人	41人

■問い合わせ先

福祉部 部長 山田 由里（内線1200）

担当：高齢者安心課（電話0279-22-2179）

課長 入澤 仁（内線1224）

地域支援係長 田村 陽子（内線1221）

渋川市公式ホームページのリニューアルに向けたアンケートを実施します

渋川市の市公式ホームページは、令和2年にリニューアルを行い、検索機能などを強化しました。渋川市は、さらに利用しやすく、見やすいホームページを目指して、令和7年にホームページのリニューアルを予定しています。このリニューアルに当たり、ホームページの利用について、皆さんの意見を聴くアンケートを実施します。

1 概要

現在の渋川市公式ホームページは、情報の探しやすさと災害時の対応力を向上させるため、令和2年にリニューアルを行いました。現在のホームページの契約が令和7年に満了することに伴い、さらに利用しやすく、見やすいホームページを目指して、リニューアルを予定しています。このリニューアルに当たり、今後の方針等の参考とするために、ホームページを利用する方の意見を聴くアンケートを実施します。

2 調査期間 令和5年9月1日(金)～30日(土)

3 調査方法

市ホームページにアンケートフォームを掲載し、アクセスしてもらい、意見を入力し、送信してもらいます

4 アンケート項目数

(1) 選択式＝9問

- ① 住んでいる地域
- ② 年齢層
- ③ ホームページの利用頻度
- ④ ホームページの利用環境
- ⑤ 求めている情報を探す方法
- ⑥ 求めている情報に到達するまでの時間
- ⑦ ⑥の回答に対する追加質問
- ⑧ 求めている情報の種類
- ⑨ リニューアル時に重視すべき事項

(2) 自由記述(任意)＝1問

5 アンケート結果の主な活用方法

- ・レイアウトやデザインなどの方針への反映
- ・各情報への最適なアクセス方法の検討

6 周知方法

「広報しぶかわ」9月1日号及び市ホームページに掲載

参考

1 前回の主なリニューアル内容

(1) トップページデザインの変更

迫力のある風景写真やイラストを配置し渋川市らしさを表現しつつ、情報の見やすさを重視してページを基調とした配色にしました。

(2) グローバルナビゲーション表示位置の最適化

グローバルナビゲーション(ホームページ内で共通表示するメインメニュー)をページ上部に置き、画面を操作した場合でも常に表示させることで、操作性を向上させました。

(3) 防災ポータルサイトの構築

災害時の緊急情報やハザードマップ・避難情報など、防災・安全に関する情報をまとめたサイトを用意し、普段から防災情報を確認しやすくしました。

また、甚大な災害発生時は、防災ポータルサイトをホームページトップページとして表示できるようにしました。

(4) 目的別検索

対象者別やライフイベント別などのさまざまな検索機能をまとめて表示し、利用者の目的に合わせた情報の探しやすさを向上させました。

(5) 便利メニュー

早引き検索機能や各種申請に利用する機能などを便利メニューとしてまとめて表示し、利便性を向上させました。

(6) スポット広告枠の新設

トップページ最下段に一覧表示しているバナー広告の中から1つを、ファーストビュー(最初に表示される範囲)に無作為で表示する広告枠を設けました。バナー広告を利用者の目に触れやすくすることで、広告収入の増収を図りました。

2 過去のアクセス数等について

(1) 過去5年分の年間アクセス数

- ・平成30年度：155万4,206件（月平均：12万9,517件）
- ・令和元年度：168万4,102件（月平均：14万 342件）
- ・令和2年度：231万 119件（月平均：19万2,510件）
- ・令和3年度：239万6,909件（月平均：19万9,742件）
- ・令和4年度：263万9,490件（月平均：21万9,958件）

(2) 令和5年7月分のアクセス数トップ5

- ① トップページ
- ② 観光トップページ
- ③ 伊香保石段街ライブカメラ
- ④ 令和5年度「日本のまんなか渋川へそ祭り」の開催が決定しました
- ⑤ 令和5年度「日本のまんなか渋川へそ祭り」が開催されます

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）